

Q7：調べ学習をするためには、どのようにしたらよいですか？

A：調べ学習の流れは以下ようになります。

- ① 調べる課題をつかむ。
- ② 資料を探して調べる。
- ③ 調べたことをまとめる。
- ④ まとめたことを伝える。
- ⑤ 活動を振り返り、疑問などを新たな課題とする。

この活動は常に繰り返されます。しかし、必ずしも①～④へと進んでいくとは限りません。③のまとめを行っているときに、分からないことが出てきて②の調べるに戻ることも考えられます。そして、調べたことを加えて再び③のまとめに進みます。⑤の活動は、次の調べ学習に導くための大切な活動となります。

そして、①～④のそれぞれの場面や、全体の活動を個人や全体で評価し合う場面を作りましょう。

さらに、初めは活動を支援するため、教師が大まかなテーマを決めたり、資料を用意したり、まとめ方を示したワークシートなどを準備したりすることもよいでしょう。

調べ学習については、詳細をご覧ください。

詳 細

Q7：調べ学習をするためには、どのようにしたらよいですか？

各教科の学習や総合的な学習の時間の活動で、調べ学習を行う機会が増えています。それぞれの学習内容によって多少の違いはありますが、およその流れは、次のようになります。（例：小4・社会科「くらしをささえる水」）

① 調べる課題をつかむ。

調べるためには、何を知りたいのかをはっきりとさせることが大切です。そこで、大きな課題から、少しずつ絞っていくと、調べやすくなります。

【全体の課題】 「くらしをささえる水」



【個人の課題】 「川の水はどのようにきれいにするのか？」



【キーワード】 「浄水場のしくみ」

② 資料を探して調べる。

課題をつかむことができたなら、資料を探します。様々な資料に当たり、必要なことはカードなどに書き留めておきます。場合によってはコピーすることもあります。著作権に注意するように指導をします。

【図書資料】

一般的な事柄や、普遍的な事柄を調べるのに適しています。

複数の資料を並べて比べたり、自分の速度に合わせて調べたりすることができます。学校図書館だけでは資料が足りない場合は、公共図書館から団体貸し出しを受けることもできます。

【パンフレット】

写真が多く児童にとって見やすくそれぞれの施設やテーマなどについて、最新の情報を得ることができます。テーマごとにファイルしておくといやしくなります。

【ビデオ】

内容によっては、学習用のビデオが配布されている場合があります。映像による資料で、文章や図などでは分かりにくい部分を理解するのに役立ちます。

【コンピュータ】

インターネットを利用して、最新の情報を手に入れることができます。名古屋市教育委員会から配布されているものや、各種団体が制作しているCD-ROMも利用してみるとよいと思います。例えば「発見！なごや素材データベース」を利用すると、写真を取り出

して、発表に利用することができます。

インターネットやCD-ROMの写真などは、コンピュータ上でそのまま利用することができます。ただし、公表されている内容が正しいとは限らないので、信用できる情報かどうかを判断する必要があります。

パンフレット、ビデオ、CD-ROMなどは、関係機関に問い合わせることによって、手に入れることができる場合もあります。

【その他の方法】

地域について調べる機会が増えていますが、資料が見付からないこともあります。

そのような場合は、詳しく知っている方にインタビューをしたり、地域に出掛けてデジタルカメラで写真を撮ったりして、調べることもできます。その際、児童にインタビュー先を紹介する支援も必要です。また、訪問先への了承や、話し方など、取材の仕方を指導することが考えられます。

③ 調べたことをまとめる。

まとめるときは、丸写しをせずに自分の言葉でまとめるようにさせます。また、どの資料を基にしてまとめたのかが分かるように、出典を書き添えるようにします。まとめ方の例を紹介します。

【新聞（ポスター）】

児童にも作りやすく、一斉に発表しやすいので、最も多く用いられる方法です。「見出し」や「割り付け」を工夫すると、分かりやすくまとめることができます。読みやすくするためには、文字の大きさが小さくならないように気を付けます。また、図や表でまとめると、分かりやすくなります。

【紙芝居】

絵を見せながら説明します。ストーリー性のあるものを説明したい場合に用います。伝えたい内容を決めて、分かりやすく絵にします。

【劇（人形劇・ペープサート）】

動きのある説明にしたいときに用います。ストーリーを考えて作り、役割を決めて演じます。

④ まとめたことを伝える。

調べたことをまとめたら、伝え合うとよいと思います。伝え合うには、児童の発達段階や伝える相手に合わせて、次のような方法が考えられます。

【形式】ポスターセッション、ホームページ、プレゼンテーションなど

【規模】校内（全校、学年、学級、グループなど）、校外（家庭、地域、全国など）

⑤ 活動を振り返り，疑問などを新たな課題とする。

④までの活動が終わったら，今までの活動を個人や学級全体で評価し合う場面を必ず設定します。そして，新たな疑問などを新しい課題にします。この活動が調べ学習のポイントとなります。①～④のそれぞれの場面で行っても，全体を通して行っても構いません。

中学校でも各教科，総合的な学習の時間などで調べ学習が行われるようになりました。図書館担当者としては，各学年向けに調べ学習に関する印刷物を作るとよいでしょう。

これは、夏休み前に生徒に配布する自由研究の参考資料の例です。

調べ学習への取り組み（例 自由研究に取り組もう）

1 テーマを考えよう

とりあえず決まったらまずは概略を調べてみよう。

中学生の君たちにぴったりの百科事典で思いついたテーマを調べてみよう。

- ・ 総合百科事典 『ポプラディア1～12』（ポプラ社）
あいうえお順 もちろん「索引」で調べられる。

次に年鑑を見てみましょう

- ・ 『少年朝日年鑑 学習編』 テーマを考える手がかり
- ・ 『少年朝日年鑑 資料編』（朝日新聞社）各種統計資料が満載
毎年出ますので数年分を見るとよいでしょう。

よう。

「目次」を使うことが大切。

次に以下の本などから、自分にあった調べ方、まとめ方を考えよう。

- ・ 図書館シリーズ ① 『図書館を使おう』（ポプラ社）
② 『調べるって、どんなこと』
③ 『いろいろなことを調べてみよう』
④ 『調べたことをまとめよう』
⑤ 『コンピュータで調べよう』
⑥ 『読書を楽しもう』
- ・ 『中学生のための「総合」アイデアBOOK 6』（ポプラ社）
— 図書館とインターネットを使いこなそう —
- ・ 『調べ学習ガイドブック 2002～2003年』（ポプラ社）
— なにをどうしらべるか —
- ・ 『ホームページ活用ガイド』（あかね書房）
- ・ 『世界なんでも情報館』（ポプラ社）
- ・ 『日本なんでも情報館』（ポプラ社）

以上の本や、インターネットなどを参考に、自分のテーマにあった資料を探しながらこのテーマでよいか考えよう。毎日の新聞やテレビなどにも注意しながら自分のテーマをはっきりさせていく。

2 学校の図書室や公共図書館で本を探してみよう

図書館の棚を良く見る。実際に本を手にとって自分のテーマにあった本を探す。本はNDCとってある規則で並んでいます。

例えば文学なら9分類，歴史，地理など社会科関係は2分類，社会科でも公民や福祉関係は3分類，生物，天文など理科関係は4分類，手芸，料理は5分類，スポーツや音楽は7分類，言葉などは8分類です。

※ この分類（規則）は図書館へ行けば掲示されていますし，図書館の司書の人，学校の図書室だったら先生に聞いてください。

すでに書いたようにおおまかなことは，百科事典や各種の事典で調べると便利です。（1つの百科事典・各種の事典ではなく複数見ましょう）

3 資料が見つかったら，自分のテーマにあった記事を探そう

本の内容について，すべて読まなくても 前の目次と後ろの索引 を見れば，どんな内容が書かれているかおおまかに分かります。

* 社会科や理科の教科書も同じです。確認をしてみよう。

4 探し出した記事を，集めよう

ノートなどに写してもよいし、部分的にはコピー（扱いには注意がいらす）をしてもよい。

カードに主題別に書き出すと便利です。

5 以下のことを参考に集めたものを組み立てよう

- なぜ，そのテーマにしたかの理由や調べる目的をはっきりする。
- 調べただけで終わるのではなく，調べている中で出てきた疑問や発見を加える。
- 文，絵，図，写真，表などを使い，見やすく分かりやすく伝える工夫をする。
- 調べた資料を写すだけでなく，自分で考えたり、友達や家の人と話し合ったりして，その結果を整理し，まとめ直す。
- 資料を使うときは，参考にした資料名を一覧にする。（図書や資料の名，著者・編集者名，出版社名・インターネットのサイト名）
- この活動を通して学んだこと，考えが変わった事などを明記する。

6 今までの活動（1～5）を振り返り，新たな課題を考えよう

Q8： 調べたことを分かりやすくまとめるために
どのような指導をしたらよいですか？

A： 分かりやすくまとめるポイントを3つ紹介します。

- ① 児童の実態に合わせ、今回の学習では、どのようなことを目当てとして指導するかを考えます。
- ② まとめたものをどのように活用するか（だれに伝えるのか、どのように発表するのかなど）を児童に理解させ、それに適したまとめ方を指導します。
- ③ 活動後、まとめ方について、児童自身に評価をさせます。

調べたことを分かりやすくまとめるポイントについては、詳細をご覧ください。

詳 細

Q8： 調べたことを分かりやすくまとめるために
どのような指導をしたらよいですか？

① 児童の実態に合わせ、今回の学習では、どのようなことを目当てとして指導するかを考えます。

例 図書の内容を箇条書きにする。 見出しを効果的に入れる。
絵や図表を効果的に入れる。 構成を考えてバランスよくまとめ

ポイント① 全員の児童にこのことはできるようにしたいと思うことを1つまたは2つ決めて指導します。

例 壁新聞やパンフレットに構成を考えてバランスよくまとめる指導をする場合
調べて分かったことをまとめる前に、紙面のどこにどんな内容を書けるか、枠組みを決めさせます。

この段階で、紙面のどこにどんな情報を書けるのか、どんな絵や図表を入れるのかを考えさせることで、バランスよくまとめさせることができます。

また、教師としても、児童がどのようにまとめようとしているかを事前に知ることができ、よりの確な支援をすることができます。

ポイント② 一人一人のまとめる力は様々であり、調べる内容によってまとめ方も違ってきます。その子に応じた支援ができる工夫をします。

例 「アドバイスカード」の設置
児童がまとめ方で困ったときに参考にするのできる右のような「アドバイスカード」を学校図書館に設置しておきます。

児童は、必要なときにこの「アドバイスカード」を活用することで、教師の支援を待たずに、より効果的なまとめ方を知ることができます。

「アドバイスカード」の例

- 図の入れ方
- 見出しの入れ方
- 表の作り方 など

《アドバイスカード》
絵を入れて説明しよう

絵を入れて説明すると、記事の内容がより分かりやすくなります。絵を入れるときのアドバイスです。
<アドバイス①>
記事の内容に関係のある絵をかきましょう。
せっかく絵を入れても、記事の内容と関係なくは意味がありません。どんな絵を入れると分かりやすくなるか考えましょう。

<アドバイス②>
記事の内容と詳しく絵を見てもらえるようにしよう。
絵に関係のある説明をしているところで、「右の図のように・・・」[○]です。「下の絵」など書き、絵を見てよく分かってもらえるようにしましょう。

<アドバイス③>
絵の題名をつけましょう。
何の絵なのか、絵の下に題名をつけましょう。

【友だちの例】
たんぼぼは、虫にめだつように えを高くのぼして花をさかせます。
たんぼぼの花は、ちいさい花がたくさん集まっています。(下の絵)



【たんぼぼの1つの花】

② まとめたものをどのように活用するか（発表の対象，発表のし方，調べた内容に合ったまとめ方など）を児童に理解させ，それに適したまとめ方

高学年児童の場合・・・発表の時のことを見通し，伝える相手がより分かりやすくなるような工夫をさせることが重要です。

発表の対象・・・ 全校児童を対象にした発表の場合，1年生にも分かるまとめ方を意識させます。

発表会のし方・・・ 教室などに掲示する場合と発表会で活用する場合では，同じ壁新聞にまとめるのでも，まとめ方は違ってきます。

（発表会に用いる場合は，字の大きさを大きくし，発表の重点だけをのせるようにすると，聞き手によく伝わります。）

まとめ方・・・ 調べた内容によりまとめ方は違ってきます。レポート，壁新聞，パンフレットなどを例示し，より効果的なまとめ方を児童に選択させます。

場合によっては，壁新聞とパンフレットというように併用することも出てきます。

高学年児童の場合・・・まとめ方の目標を児童にしっかりもたせてから，取り組みせ，それができたかどうか自己評価・相互評価させます。

③ 活動後，まとめ方について，児童自身に評価をさせます。

- 児童は，友達への活動のよさを知ったり，自分のまとめ方がどのくらい上達したかが分かたりして，次の活動の時に自分で目当てを理解することができるようになります。
- 児童に課題意識をもたせて取り組ませることも，まとめる力を上達させる重要な一つの手段です。

I めあてにしたことができましたか。						
	めあてとして取り組んだこと	自分の評価	同じグループの仲間への評価			
①	必要なことだけをまとめて書く。	○	○	○	○	○
②	図や絵はスペースをとらないように書く。	○	○	○	○	○
		できた・・・◎		まあまあできた・・・○		できなかった・・・△
2	思い通りにまとめることができましたか。	1	2	3	4	5
3	分かりやすくまとめることができましたか。	1	2	3	4	5
4	進んでまとめることができましたか。	1	2	3	4	5
5	これからの活動が楽しみですか。	1	2	3	4	5

《自分の立てた目当てを振り返るカードの例》

Q9：資料を探せない児童にはどのようにしたらよいですか？

A： まず、資料の探し方を指導してから、探すようにします。下にあるように、図書やインターネットを使った探し方のポイントを指導します。

【図書から探す場合】

- 1 図書の分類・書架配置
- 2 図書の特性
- 3 目次・索引の利用方法
- 4 必要な部分の抜き出し方

【コンピュータから探す場合】

- 1 インターネット
 - ① キーワード検索の方法
 - ② カテゴリ検索の方法
- 2 百科事典ソフトの利用法

資料の探し方については、詳細をご覧ください。

詳細

Q9：資料を探せない児童にはどのようにしたらよいですか？

【図書から探す場合】

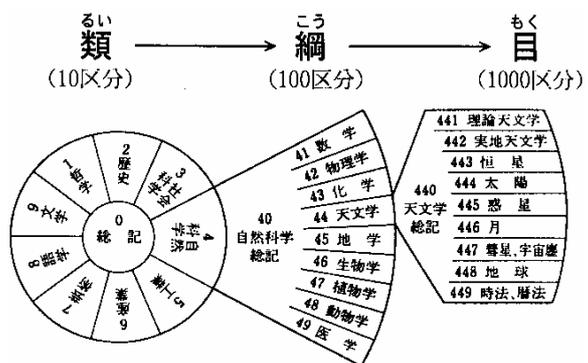
図書の分類や書架配置について指導します。また、図鑑や年鑑など、図書の特性も指導します。それを基に、調べたい事柄に関する図書が、どの書架にありそうか見当をつけて探すようにします。書架から本を探すときは、書名を参考に探します。しかし、書名だけでは探せない場合もあるので、本を手にとって目次や索引を見るようにするとよいでしょう。キーワードを手掛かりに、目次や索引から該当するページを探します。該当するページが見付かったら、必要な部分だけを抜き出すことが大切です。

1 図書の分類・書架配置

図書は、書かれている内容によって大きく10区分に分類されています。必要に応じて、100区分、1000区分の分類についても指導します。

(例 中学年用分類表)

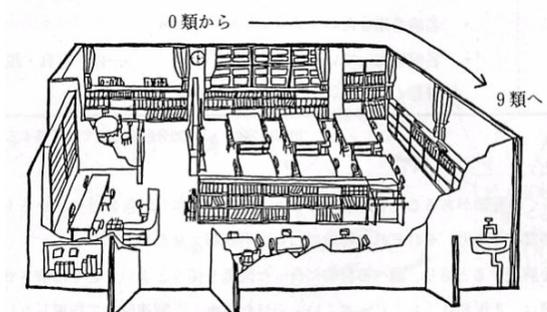
0	一般…百科事典, 年かん, きょう土
1	道徳…考え方, しゅう教
2	歴史…日本の歴史, 世界の歴史, 伝記
3	社会…せい治, けいざい, 風俗
4	理科…算数, 生物, 保健とえい生
5	工業…土木, 電気, 家事
6	産業…農業, 林業, 交通



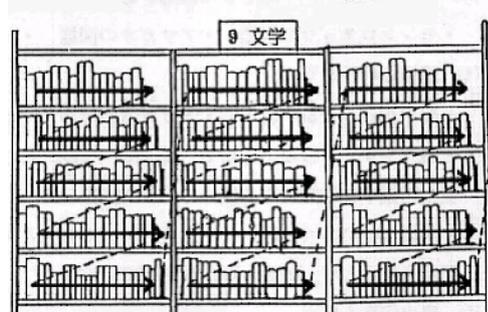
《日本十進分類法1000区分の仕組み》

《日本十進分類法10区分》

分類記号順に左から右に並んでいる。0類から9類へ右回りに配架されている。



《10区分の書架配置》



《本の並び方》

2 図書の特性

百科事典……いろいろな事柄を調べることができる。項目を五十音順に配列した「五十音順百科事典」と、項目を主題別に配列した「主題別百科事典」がある。

国語辞典……言葉の意味や使い方、漢字の表記の仕方を調べることができる。

年鑑……ある分野の一年間の出来事・統計などを調べることができる。

図鑑……図や写真が多く、色・形・大きさなどを調べることができる。

3 目次・索引の利用方法

目次…大項目と小項目に分けられていることがあり、目次から本文を探すには、まず、目次のどの大項目に含まれているか、次に、どの小項目に含まれているか見当を付けてから調べる。

索引…図書の内容に出ている事柄のうち大切なものを選んで五十音順に並べてある。調べたいことを速く探すことができる。

(例 昆虫図鑑の目次・索引を使って調べる)

- ・ 昆虫の名前を知りたい。
 - ・ 名前は知っているが、もっと詳しく調べたい。
- 目次 → 目 絵・写真
索引 → 索 ・説明文

4 必要な部分の抜き出し方

該当するページが見つかったら、よく読むようにします。よく読んで、必要な部分だけをカードやノートなどに抜き出します。本文を丸写ししてしまう児童には、丸写しをした中から、どこが大切か検討してアンダーラインを引くことなどを指導するとよいでしょう。

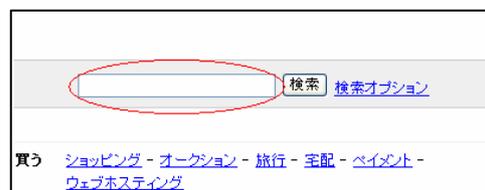
【コンピュータから探す場合】

1 インターネット

資料を検索するには、キーワード検索とカテゴリ検索があります。キーワード検索は、入力したキーワードを含むホームページの一覧が表示され、そこから選んで検索します。適切なキーワードを入力することが必要です。カテゴリ検索は、調べたい事柄が含まれるカテゴリをたどっていき、関連するホームページのまとめりから探すことができます。

また、インターネットを使って資料を探す際にも、注意が必要です。インターネットからホームページを検索することは、膨大な情報から絞り込んでいく大変な作業になります。さらに、ホームページの内容は、信頼できるものとは限りません。玉石混交の情報から、有益な情報を探し出すことも難しい作業です。この点についても児童に指導しておく必要があります。学習のねらいや時間数に応じて、教師が事前に「お気に入り」に登録しておいたり、「リンク集」を作成しておいたりして、使わせるとよいと思います。

① キーワード検索の方法



検索欄に適切なキーワードを単語で入力する必要があります。文章の検索欄 たり、キーワードが適切でなかったりするとうまく検索できません。うまく検索できない場合は、どんなキーワードが適切か検討して他のキーワードではどうか、何度も試してみるといいでしょう。適切なキーワードを検討する方法には、
 《検索エンジンの画面の一部》
 下のような方法もあります。

- ・ 同じ課題の児童でグループをつくり、グループ内で検討する。
 - ・ 学級内で、一つの課題を調べ、どのキーワードが適切だったか検討する。
- また、次の例のように、複数のキーワードを入力して検索をしぼり込む方法もあります。

(例 検索エンジン Yahoo! Japan を使って「野生動物の絶滅危機」を調べる場合)
 検索欄に「野生動物□絶滅」と入力すると下のように絞り込んだ検索ができる。

Yahoo!カテゴリとの一致 (1件) ・ 野生動物 > 絶滅の危機にある種 (15) Yahoo!登録サイトとの一致 (9件中1~9件目) 野生動物 > 絶滅の危機にある種 ・ 環境省生物多様性センターRDB種情報検索 - 日本版レッドデータブックが対象。

※ □はスペースを意味する。

《「野生動物□絶滅」で検索した例》

② カテゴリ検索の方法

Yahoo! Japan などの検索エンジンは、ホームページを内容によって、「生活と文化」「地域情報」などのカテゴリに分類しています。キーワード検索がうまくいかない場合や、課題が大まかな場合などに使うとよいでしょう。例えば、「名古屋市について調べたい」場合には、「地域情報」→「日本の地方」→「愛知県」→「市町村」→「名古屋市」とカテゴリをたどっていきます。そうすると、「名古屋市」に関するホームページが

生活と文化 子ども,環境,グルメ,障害者...	コンピュータとインターネット ハードウェア,ソフトウェア,WWW...
教育 大学,専門学校,小中高,資格...	政治 政治,行政,国会,法...
健康と医学 病院,病気,ダイエット...	地域情報をクリッ 動物,エコロジー,地球,天文,工学...
社会科学 経済学,社会学,言語,政治学...	地域情報 日本の地方,世界の国...

《カテゴリ検索の例》

名古屋市のカテゴリ	
エリアガイド (24)	趣味とスポーツ (136) NEW!
エンターテインメント (396) NEW!	生活と文化 (122) NEW!
教育 (196)	政治と行政 (72)
芸術と人文 (55)	ビジネスと経済 (1904) NEW!

《名古屋市に関するホームページの一部》

カテゴリごとに分類されたページ

にたどり着き、見てみたいカテゴリを選んで調べることができます。

2 百科事典ソフトの利用法

『総合大百科エンカルタ 2003』（マイクロソフト）などの百科事典ソフトはいろいろな事柄が網羅されています。下の例のように、音声や映像の資料が豊富にあったり、関連するホームページにリンクしていたりするなどの便利な機能が付いています。

（例 「総合大百科エンカルタ 2003」を使って「地球温暖化」を調べる）

項目構成…系統立てた内容構成になっている。文章を音読する機能がある。

メディア…関連する写真やビデオなどの一覧表がある。

読み物と記事…文献や読書案内などの情報が得られる。

Webセンター…関連するインターネットの情報を検索できる。



読み物と記事

《エンカルタ 2003 の検索画面》

Q10：学校図書館を利用して、どのような調べ学習ができますか？

A： 学校図書館を利用した調べ学習の活動例を紹介します。

- 各教科の学習において、興味のあることや疑問に思うことについて調べたり、学習内容についてさらに発展的に調べてまとめたりする学習ができます。
- 体験的な活動を通して生まれた疑問や課題などについて、図書資料などを活用して調べる学習ができます。
- 体験的な活動に取り組む前に調べ学習を行い、活動を充実したものにしたり、体験後に両者の違いを比較しながら再度調べ直したりする学習ができます。

いずれの場合も、調べて終わるのではなく、調べて分かったことを基に、まわりの人へ情報発信して伝える発表や表現活動を取り入れていくことが大切です。

調べ学習の活動内容については、詳細をご覧ください。

小学校詳細

中学校詳細

Q10: 学校図書館を利用して、どのような調べ学習ができますか？(小)

○ 各教科の学習において、興味のあることや疑問に思うことを調べたり、学習内容についてさらに発展的に調べてまとめたりする学習ができます。

国語の説明文教材3年生「調べる楽しさ」めだか／いるかのひみつ／目次を
ひらこう

【もっと深く知ろう】

「めだか」「いるかのひみつ」の説明文教材を学習していく中で、生き物の体の仕組みや能力について興味や疑問をもったり、昆虫や植物など他の生き物の生態についてもっと知りたいと思ったりした時に、図書館を利用して調べ学習を随時取り入れます。

【調べてみよう】

- ① 目次や索引を手がかりにして、図鑑・事典、科学的な本などを活用した調べ学習を行います。調べて分かったことをカードにメモしていくことで、学習内容をもっと深く理解することができ、次の調べ学習への意欲にもつながります。
- ② 学習を終えた後には発展的な学習として、生き物といった共通のテーマで自分が興味をもったことを調べ、分かったことを基に絵や文でまとめる活動を行うことで、必要な資料を自分で選ぶ力を身に付けることができます。

【まとめよう／伝えよう】

調べたことをまとめたカードなどを基に、壁新聞や冊子にまとめたり、お話絵本や紙芝居を作成したりすることもできます。感想を交えながらお互いに発表し合えば、調べた内容を共有することができ、伝える喜びを味わわせることができます。まとめたものを学級や図書室などに展示しておけば、資料としても活用することができます。

○ 体験的な活動を通して生まれた疑問や課題などについて、図書資料などを活用して調べる学習ができます。

地域素材を生かした総合的な学習（動植物、歴史、民話、環境、福祉、国際理解など）

【地域を知ろう】

町の探検を行ったり、高齢者との交流活動を深めたりして、地域素材を生かした体験活動の中で出てきた課題や疑問について調べ学習を行います。季節を通じた観察や、家庭や地域での実態調査などで出てきた疑問や課題についても、調べることができます。

【調べてみよう】

実際に体験して疑問に思ったことや詳しく知りたいことについて図鑑などで調べることにより、内容の確認やより正確な情報を得ることができます。また、今後の見通しをもって活動に取り組むことができます。

- ① 公園や通学路など、地域の町探検を行ったり、地域の人とふれあいながら町の歴史や文化について話を聞いたりして、体験的な活動の中から自分の課題を見付けます。
- ② 発見したことや聞いてきた情報などを基に、図書資料やインターネットなどの資料で調べます。
- ③ 資料で調べて得た情報と体験的な活動で集めた情報を照らし合わせ、比較することで、相違点を見付けたり地域の特徴や独自性を見出したりすることができます。



《草花について図鑑で調べる様子》

【まとめよう／伝えよう】

自分の足と手で集めた情報は自分たちにしか得られない情報であり、調べ方やまとめ方の幅が広がります。体験した事実と調べて明確になったことを基に、感想を加えた個人記録を資料としてまとめます。調べるときに活用した図鑑などの一般的な分類の仕方を参考にして、まとめ方や表現を工夫した手作りの図鑑やパンフレットなどにまとめることができます。地域の情報についてまとめたものを活用し、交流会や発表会を通して、地域の方や他学年の児童など、多くの人に幅広く学習成果を伝えることができます。

○ 体験的な活動に取り組む前に調べ学習を行い、活動を充実したものにしたり、体験後に両者の違いを比較しながら再度調べ直したりする学習ができます。

野外学習先、修学旅行先、校外学習先などの事前調べ学習（中津川、京都、奈良など）

【調べてみよう】

- ① 活動計画を立てるときにパンフレットやインターネット、図書資料などで気候や風土、歴史や文化、建造物などについて、野外学習先、修学旅行先、校外学習先などの資料を集める調べ活動を取り入れます。
- ② 事前に調べたことを基にしおり作りを行えば、それぞれ分担して調べたことを一つにまとめた情報が詰まった手作りしおりが完成します。これらの情報を予備知識として現地に出かければ、見学や活動の幅を広げることができます。

【まとめよう／伝えよう】

学校に戻ってからは、現地で採集したものや集めた資料などを活用して、情報の整理や活動のまとめに取り組むことができます。写真集、図鑑、パンフレット、チラシなど、まとめ方の工夫は様々あります。

事前に調べたことだけでなく、見たり聞いたりしたことを基に資料が作成できれば、様々な分野での手作り資料が蓄積され、より充実した情報として残していくことができます。掲示や展示をすることにより、次年度の活動にも有効利用していくことができます。

Q10：学校図書館を利用して、どのような調べ学習ができますか？(中学校)

例えば、社会科では歴史上の有名人物や大きな事件等をさらに詳しく、多面的に学習するために調べ学習を行うことができます。英語科では、辞書の引き方指導の流れの一環として、英語圏の国々の違いを調べる活動を行う等、様々な教科・領域で調べ学習を行うことができます。

ここでは、「総合的な学習の時間」に職業体験活動を行い、その発展として修学旅行時に、江戸伝統工芸職人さん宅での体験活動を行った調べ学習の実践例を紹介します。

1 職業体験前の活動

(1) 仕事の内容についての情報収集

職業体験の受け入れを受諾してもらっている職種を事前に集約して、それらの仕事の内容について事前学習を行います。

まず職業体験ができる職種の一覧表を作成して生徒に配布します。その中から各自が興味をもった3～5種類の職業について調べたい職業を選択させます。江戸の伝統工芸は、関連図書が出版されていないため、インターネットで事前に情報収集をしておいてもよいこととします。

この後、各自が収集した資料、そして学校図書館にある資料等を活用して調べる活動を行います。

(2) 収集した資料を活用して事前学習

生徒各自が調べた情報を各クラスの代表者が持ち寄って、職業体験予定の仕事を紹介するオリジナル資料集を作成します。そしてB4サイズの用紙5枚にまとめたこの資料集を、生徒全員分印刷して配布します。

この資料集を活用して、生徒各自は職業体験の希望先を選択します。訪問先が決定されたらグループごとに仕事、製品の製作工程、歴史等についての事前学習を行います。そして、体験時の具体的な質問内容を準備して職業体験に備えます。

組	職 種
1	江戸切子で皿作り
1	千代紙人形作り
1	吹きガラス
1	吹きガラス
1	和風金物製作
1	江戸扇子(絵付け)
2	江戸切子
2	藍染め
2	江戸ガラス作り(ペーパーウエ
2	鍛錬
2	金属彫刻(はんこ作り)
2	染色型紙
3	東京桐ダンス(ペン立て作
3	江戸箸作り
3	浮世絵木版画(お話と見学)
3	鍛錬
3	更紗染め
3	三味線制作
4	ブラシ作り
4	豆風作り
4	江戸切子
4	江戸切子
4	江戸切子の技法によるペーパー
4	羽子板作り(カードいれ作
5	凧・熊手(凧の制作)
5	江戸切子の技法によるペーパー
5	吹きガラス
5	江戸ガラス作り(ペーパー
5	指輪作り
5	鱗甲細工(キーホルダー作
6	江戸扇子(絵付け)
6	竹細工
6	吹きガラス
6	漆器塗師(お話と見学)
6	建築漆工
6	羽子板の歴史

《各組各班が選んだ職種一覧の例》

2 職業体験後の活動

(1) 学級発表会

訪問先ごとのグループに分かれて、体験学習したことを四つ切画用紙一枚にまとめる活動を行います。（3時間完了）

その時の留意事項として、次の項目は必ず盛り込んで、編集そして作成するように指導をします。

- ・ 事前学習で分かったこと
- ・ 実際に体験をして分かったこと
- ・ 班員の意見
- ・ 職業体験の現場で実際に撮影した写真とその説明

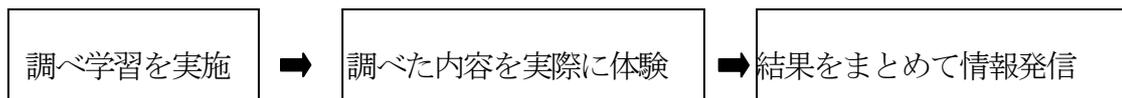
レイアウトの仕方については、あまり詳細に決めるよりも大枠のみを決めたほうが、各グループそれぞれ個性あふれるまとめ方ができると思われます。教師は、各グループの進行状況を把握し、分かりやすいまとめ方になるよう随時アドバイスをしていきます。そして仕上がったグループから、学級発表会に向けての原稿準備を行います。発表時間は5分程度とし、グループ全員が役割分担をして発表を行うようにします。

発表の内容は、まとめた用紙の完成度、グループのまとまり度等の様々な観点から評価を行い、学年発表会に向けての代表グループを、各クラスで選出します。

(2) 学年発表会

修学旅行での体験活動発表会の案内状を保護者の方にも出して、参加を呼び掛けます。各クラスで選出された代表グループは、発表原稿を練り直します。学年発表会では、学級発表会の時より発表時間を長く取るようにします。そして各自が実際に体験活動時に製作した作品や、その時にもらった資料等も提示したり、コンピュータを利用したりして、学級発表会の反省を生かして発表します。分かりやすい発表をすることができるようにリハーサルを重ねていきます。

学年発表会時には、発表しない他のグループがまとめた用紙を発表会場の近くに掲示しておいて、保護者や他の生徒が自由に見ることができるようにしておきます。お互いの発表内容を評価し合えるようにしておくことで、生徒全員がこの発表会に参加しているという共通の意識も高まります。



このような流れで、生徒全員が発表活動を行うことによって、事前に調べた伝統工芸にかかわる職業の内容が決して机上の知識でなく、実際の生活の中でより身近な知識として根付いていくと思われます。